



NPO法人

# 掛川国際交流センターだより

## Takegawa International Center News

Vol.10 2013.9

### 平成25年度通常総会の報告



総会議事の様子

6月15日(土)掛川市の指定有形文化財でもある竹の丸にて、通常総会を開催しました。

昨年度の事業報告と活動決算、平成25年度事業計画および活動予算の議事に加え、今年度より市からKIC事務局へ移管した交流部門の事務についても議題の中で説明がありました。すべての議事は、会員の承認を得て、無事に終了しました。また、掛川市より、秋に開催する市主催の掛川国際交流フェスティバルへの協力要請についてのお話がありました。KICも、例年行っているインターナショナルフェアとして、同イベントに共催します。

総会終了後は、会員ボランティア交流会として「掛川蕎麦研究会」の皆様の手打ちそばの振る舞いをさせていただきました。美味しい蕎麦をいただきながら、和やかに親交を深めることができました。



無事に議事も終了して全員でパチリ！



交流会は手打ちそばに舌鼓

### 多文化共生部門

#### 外国につながる子どもたちのためのなつやすみ勉強会 開催 2013年8月10日(土) 掛川市生涯学習センターにて

この日は12名の子ども達が参加し、掛川東高校英語部のお兄さんお姉さんや、市民の学習ボランティアさんらと共に夏休みの宿題を頑張りました。

夏休み中の思い出をボランティアさんに一生懸命話しながら絵日記を仕上げる子、算数の単位の説明に悩みながら、汗をかきかき教えるボランティア高校生。みんな初対面同士ですが、兄弟や親子のように寄り添って、和やかに勉強をすることができました。

勉強の後は、市内在住の大橋さんに素敵な手品を見せてもらい、みんなで歓声をあげながら、楽しい時間を過ごすことができました。



教えてお兄さん、お姉さん。



切っても切ってもつながっているリボン！不思議な手品に歓声！！

30th

「留学生ホームステイプログラム」は  
30周年を迎えました!!

Anniversary

大東町時代から続く地球市民活動30年のあゆみ

第1回は1984年（昭和59年）7月16日～30日の15日間。「国や言葉は違って、みんな同じ地球人」のスローガンのもと、インドネシア、フィンランド、タイ、台湾（当時は中華民国台湾省）からの6名の留学生を迎えて、「第1回大東町国際交流のつどい」が始まりました。

当時、留学生は国内に約1万2千人（現在は約14万人）、そして、この留学生ホームステイプログラムは、北海道に次いで、全国で2番目に企画されたものでした。この30年間でホームステイした留学生は350人以上、国は約40ヶ国に及びます。



広報だいたうに掲載された「第1回」

15周年記念  
「記念講演会と  
民族音楽のひととき」

1998年には大東町国際交流センター創立15周年を記念した行事を、文化会館シオーネで開催しました。講師に国際的な数学者でジャグラーのピーター・フランクルさんを迎え、楽しく有意義なお話を聞いたり、タイの民族舞踊やペルーの民族音楽を、町民と共に楽しんだりしました。



第1回から行ってきた市民との富士登山



留学生と子ども達の交流会も夏休み恒例



先代から続く貞永寺での坐禅&お茶会

本当にあった

30年間の  
あったかエピソード

富士登山と貞永寺での坐禅、お茶会は第1回からず～っと続いており、留学生にも大人気（現在の住職は2代目）。

国に帰った留学生の結婚式に招待されたホストファミリーが、はるばるトルコまで行き、「日本の両親」として式に参列した。

国にいる奥さんを連れて、お正月にホストファミリーを訪ねてきた留学生がいた。まるで日本の我が家であるかのように、お正月にはホストファミリー宅を訪ねる留学生が少なくない。

留学生と一緒に富士登山に参加し、無事、登頂を果たした72歳のスーパーホストマザーがいた！（ちなみに70歳以上の登頂達成者は頂上で名前が登録されます）

外交官になっていた留学生の結婚式が大使館で行われ、招かれたホストファミリーが出席すると、大臣級が座る椅子に座らせてもらった！

東京へ帰る際、ホストファミリー宅で採れた大きなスイカを、Tシャツのお腹側に入れて、妊婦のようにして電車に乗って帰った留学生がいた。

留学生用にと、手縫いの浴衣を用意していたホストファミリーがいた。

# 第30回記念開催!! 留学生ホームステイプログラム

2013年7月27日～8月5日

30回目を迎えたこのプログラムに、今年は、中国、モンゴル、シンガポール、フィリピン、オーストラリア、ハンガリー、ネパール、ベトナムの8カ国、10名の留学生が集い、掛川市の各家庭に10日間、ホームステイしました。

恒例の貞永寺での座禅とお茶会 etc.に加えて、今年は海岸沿いにある津波避難タワーを見学しました。使うことがあってほしくないタワーですが、もしもの時はなくてはならないタワーです。

このような掛川の文化を知ってもらう一方、富士登山や子ども国際交流パーティでは、市民の皆さまとの交流を深めてもらいました。



↑ホストファミリー交流会



↑市長表敬訪問



←子ども交流会



貞永寺座禅体験



富士登山

## 掛川での素晴らしい10日間!!

ヘゲドゥシュ・ダニエル (ハンガリー出身)

私には今回、3つの目標がありました。

第1は日本で友達を作ること、第2は東京以外の場所を見ること、第3は日本語力を向上させること。結果、目標以上の成果があったと思います。

ホストファミリーは、細やかに、フレンドリーに私に接してくれ、掛川城や海岸（太平洋を初めて見た!）へ連れて行ってもらい、行く先々でその土地ならではの文化に触れることができました。

委員会の皆さんによるプログラムもとても充実していて、座禅、温泉体験等すべて興味深くエンジョイできました。また、富士登山は、生涯忘れられない出来事です。

素晴らしい10日間に感謝。この思い出を大切に、掛川市のことを友だちや日本に興味のある人達に伝えたいと思います。



ホストファミリーと掛川城にて

## 掛川市国際交流の活動に寄せて

ホストファミリー 中田 繁之

蝉が鳴き始める頃になると、掛川に世界各国の留学生たちがやってくる。わくわく、どきどきしながら部屋の掃除や夜具の準備に、妻が忙しげに立ち働く。今年はどんな留学生が来るのだろうか？留学生の国籍や人物像が次第にあきらかになり、会話のための話題探しが始まる。国柄や専門分野など相手を知るための、楽しい時間だ。

ホストファミリーをはじめ、かれこれ10年。留学生は異国での文化を肌で感じる最良の機会。こちらも居ながらにして世界各国の民族文化や価値観を知ることができる、素晴らしい時間である。大東町時代から参加させてもらっているこの企画も、今年で30年を迎えるとのこと。企画や計画実行を推進するスタッフのご努力には心から感謝申し上げます。

国際関係の構築が難しい昨今、このプログラムは地道ながら、同じ人間として相互理解を深める絶好の機会であり、平和を目指す最良の方法であると改めて思われます。



パウデル・サロスさんと中田ファミリー

最後に、ホストファミリーの皆様、関係者皆様のおかげで30回目も無事に、終了することができました。心よりお礼申し上げます。

# PFA パシフィック委員会

## 第7回 高校生ユージン研修 2013年3月21日~29日

高校生8名、引率2名のメンバーでユージン市を訪れました。ユージンの姉妹都市委員に空港で迎えを受けた時は引込み思案な様子も多く見られましたが、委員会メンバー、ホストファミリー、キティ市長、市議会議員達のもてなしを受けるうちに、どんどん前向きになっていきました。それぞれが多くのものを吸収したようです。

### ユージン研修に参加して

磐田南高校 岡本真結

長い長い飛行機での移動を終え、降り立った土地は日本より少しばかり肌寒く、嗅いだ事のない匂いのする場所でした。

英語に自信を持ってない私は、英語しか飛び交わない地での意思疎通に相当な不安を抱いていましたが、ホストファミリーをはじめとして、周囲にはいつも良心的な人たちがいてくれました。

一緒に買い物をしたり、子供たちと遊んだり、広大な牧場に連れて行ってもらった...。日本とは全く違う風景、人、空気、言葉、習慣、食べ物のにおい。そんなものたちに溶け込んだ生活は、新鮮で、楽しくて、まるで夢の中にいたかのようにあっという間でした。

研修を通し、コミュニケーション能力、異文化、何より行動力の大切さを学ぶことができました。一生忘れられない思い出がたくさんでき、また何度でも外国へ赴きたいと思うようになりました。



公園での楽しいひととき



ユージンの姉妹都市委員と

## ユージン学園掛川来訪 2013年6月28~30日

今年は、児童とその家族16名が訪れ、ホームステイをして過ごしました。ユージン学園では英語と日本語による教育プログラムが組まれています。それぞれの家庭で、二つの言語を交えて心の交流もなされたようです。

### ユージン市からのホームステイ 掛川北中 横井佑美

アメリカのユージン市から、ザナイダちゃんとスティーベンさんが来てくれました。

私はザナイダちゃんたちが住んでいるところを地図で調べたり、掛川に来られたときにどこに行ったら喜んでくれるかを家族で話し合ったりしました。

ザナイダちゃんは日本語を勉強していて私も英語を勉強しているので、間違えながらも日本語と英語を使っていっぱい話すことができました。日本語でしりとりをしたり、盤ゲームをしたり、とても楽しかったです。

ザナイダちゃんもスティーベンさんも手巻き寿司とたこ焼きをととても喜んでくれました。とても真剣にたこ焼きを焼いていて、おもしろかったです。花火も大笑いしながらやりました。

部活があって遊ぶ時間は少なかったけど、来てもらってとても楽しかったです。



掛川城にて



家族でだんらん

## PFA英会話教室

火曜 午前クラス

木曜 夜クラス

〈場所〉掛川市生涯学習センター

ウエイン先生がアメリカに帰国され、新しくジョン・ベック先生が木曜夜のクラスを担当して下さるようになりました。

火曜午前の斉藤先生、木曜夜のマリエル先生、ジョン先生の3人で授業が行われています。

Hello, I am from Southern California where I worked as an Architect. Living the dream of studying Japanese in Japan is a great opportunity for me. I enjoy meeting people and experiencing the interesting culture, food, and scenery of Japan. よろしく!



John Beck

# AFA アトランティック委員会

## コーニング市より友好訪問団が来訪しました！

2013年7月20日～27日

コーニング市の友好協会会長のジョン・フィッシャーさんと、18歳のハナ・スティーブンスさんが7泊8日の日程で掛川市に滞在。市民と多くの交流をしました。ジョンさんは4度目の、ハナさんは初めての日本訪問です。

7月25日、訪問団は松井市長を表敬訪問。コーニング市からの美しいガラスのオブジェを市長へ手渡し、この素晴らしい友好関係を長く続けて行きたいと語りました。「掛川では緊張の連続だったけど、あたたかいて嬉しが嬉しく、多くの友人を作った。」と、ハナさん。歓迎会では、8月にコーニングへ出発する掛川の訪問団のメンバーらとともにカレーを作り、交流を深めました。



↑市長と共に

街歩き→



カレーパーティー（歓迎会）

## ～コーニングからの友好訪問団 ホームステイを受け入れて～

ハナさんは、2軒の掛川市内のお宅にホームステイしました。

そのうちの1軒は、大須賀在住の丹羽さん。アメリカで日本語を勉強しているハナさんは、ご家族に積極的に日本語で話しかけ、英語での意志疎通に不安を抱いていたご家族にとっては、うれしいサプライズだったようです。

ホストブラザーの陸人くんは、「うまく伝わらなくて時間がかかることもあったが、お互いとてもいい時間を過ごせた。」と話してくれました。



ホストファミリーと

## 第23回姉妹都市米国コーニング市 友好訪問団結団式 2013年6月29日

第23回コーニング市友好訪問団の派遣に先立ち、大須賀市民交流センターにて、団員任命式及び結団式が行われました。小林理事長より一人一人任命書を授与された団員たち。来賓からは「過去すでに466人が友好訪問を果たし、23年目の今年も多くの皆さんが訪問することを嬉しく思う」「たくさん学んでの帰国を期待する」との祝辞や激励を受けました。その後、団員たちは、「広いアメリカを見てきたい」「掛川市や静岡県の良いところを沢山紹介したい」「掛川市の代表として交流を深めたい」などの抱負を語りました。

訪問団は、中学生9名、高校生7名、一般、引率者含め、計20名で構成され、団員らは、3回の勉強会と、交流会を経て、8月16日に出発、24日帰国。

この報告は、次回会報誌にて！

任命書授与→



掛川市の代表として任命され 気持ちのひきしめる結団式



勉強会を通してひとつのチームとしての意識が高まります。



出発の朝は、早くから松井市長がお見送りに。

## 多文化共生部門

### 平成25年度掛川市日本語教室が始まりました!

第1期掛川市日本語教室を5月12日～7月14日(毎週日曜日)に開催しました。今期の参加者は10カ国 114名。

これまではブラジル人が多く受講していた教室も、最近はフィリピンをはじめ東南アジアの国々の方が多く見られます。

掛川市日本語教室では、識字や会話を学ぶだけでなく、日本文化や生活に親しんでもらうため、様々なイベントを企画しています。3月のバス遠足では、地震防災センターや、日本が誇る食品サンプルの製作現場へ行き、体験しながら「日本」を学びました。また夏には七夕の短冊を書いたり、とうもろの里にて「豆腐づくり」にチャレンジしたりするなど、季節に応じたイベントも開催しました。

第2期日本語教室は9月29日(日曜日)から始まります。今年度も日本語教室の活動を支えてくださるサポーターさんを募集中です!!

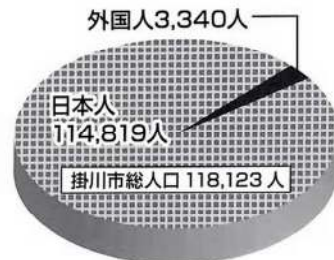


食品サンプル作り体験

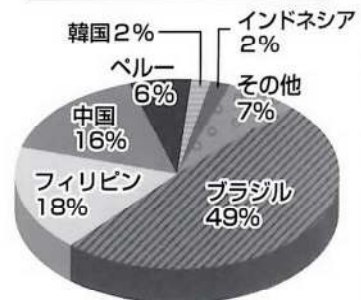


家族の健康や幸せを願った七夕飾り

### 掛川市に暮らす 外国籍住民



### 外国人登録 国籍別割合



参考：2013年7月の統計をもとにまとめました。

## Information

2013年度後半のKIC活動予定

お申し込み・お問い合わせ TEL&FAX 24-5595 Eメール glocal@lily.ocn.ne.jp

### 掛川国際交流フェスティバル

音楽ステージやフードコート、ワークショップなど異文化体験を通じて国際理解・国際交流しませんか? 入場無料です!

〈日程〉11月17日(日) 10:00～15:30

〈場所〉掛川市生涯学習センター

### 後期英会話教室(PFA)

10月開講 毎週火曜日・木曜日(場所)生涯学習センターにて  
※詳しくは広報かけがわ9月号をご覧ください。

現在、計画中のイベントもお楽しみに!!

- ワールド・クッキング
- 外国につながる子どもたちのためのふゆやすみ勉強会 など

### 英会話教室(AFA)

毎週火曜日 19:30～随時受付

〈場所〉大淵農村環境改善センター(アイク)にて

### 市民・ALT交流会ホストファミリー募集(AFA)

10月26日～27日の1泊2日で行う県内のALTとの交流イベントです。この機会にホストファミリーになって交流をしてみませんか?

### 高校生ユージン訪問団募集!(PFA)

〈日程〉3月22日～30日(予定)

※詳しくは広報かけがわ10月号をご覧ください。

### ニューヨーク国連学校中学生ホームステイプログラム(GEA)

3月末を予定しています。ホストファミリーになってくださる家庭を募集!

最新のホームステイ、ボランティア、イベント情報はHPやメールマガジンでも配信してまいりますので、ぜひ、チェックしてみてください!

### ◆KIC会員入会のお願い◆

私たちの活動は、掛川市からの委託金のほか、会員の皆さまからの会費で成り立っています。お寄せいただいた会費は、掛川市の国際交流、国際理解、在住外国人支援などの活動のために活用させていただきます。皆様のご協力をお願い致します。

#### 年会費

正会員 3,000円(個人) / 10,000円(団体)

賛助会員 2,000円(個人)

- 特典 ● 各種講座・イベントへの優先的参加及び参加費割引  
● 交流会への参加 ● 会報誌(年2回)の郵送

※詳しいお問い合わせ・お申し込みは、直接事務局まで。

### ボランティア登録のお願い

KICの活動には、多くのボランティアの皆様が活躍いただいております。年会費等はありません。HPからもご登録いただけますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

※詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

### NPO法人掛川国際交流センター

〒436-8650 掛川市長谷1-1-1 掛川市役所2階テラス

TEL & FAX : 0537(24)5595

発行日 / 平成25年9月

<http://kakegawa-life.com/>